

「湯けむりフォーラム」公式ホームページ改修業務委託仕様書

1. 目的

本業務は、「湯けむりフォーラム」公式ホームページについて、これまでの運用実績と今後の展開を踏まえ、通年コンテンツを含むオンライン発信の役割を整理しつつ、リアルカンファレンスを中心とした情報構成に再設計するための改修を行うものである。

湯けむりフォーラムは、草津温泉を舞台に各界のトップリーダーが集い、社会課題や未来社会について議論し、地域から新たな価値やイノベーションを創出・発信するカンファレンスイベントである。

令和2年度の事業開始当初は、コロナ禍の影響によりオンライン配信が中心となり、これらの企画群は「通年コンテンツ」として整理された。令和3年度には公式ホームページを開設し、年間を通してテキストレポートや動画等の発信を行ってきた。

令和4年度には初のリアルイベント（以下「リアルカンファレンス」という。）を草津温泉で開催し、その後も毎年12月に定例開催。令和7年4月時点で3回の開催実績を有する。

通年コンテンツは令和6年度末をもって制作を終了したことから、今後はリアルカンファレンスを中心とした構成へホームページを再設計し、年度ごとの開催情報やアーカイブを整理・発信する仕様とする。

2. 業務名称

「湯けむりフォーラム」公式ホームページ改修業務（以下「本業務」という。）

3. 履行期間

契約締結日から令和8年3月31日（火）

4. 業務内容

「湯けむりフォーラム」公式ホームページ（以下「湯けむり HP」という。）について、これまでの運用実績と今後の展開を踏まえ、通年コンテンツを含むオンライン発信の役割を整理しつつ、リアルカンファレンスを中心とした情報構成に再設計するための改修を行う。

① 特記事項

湯けむり HP の改修においては、利用者にとっての見やすさ・使いやすさ、運用のしやすさ、今後の展開を見据えた柔軟性を重視し、以下の点に配慮すること。

(ア) 湯けむり HP については、フォーラムで生まれた知見が十分に伝わるデザイン・構成とすること。また、利用者にとってわかりやすく、見やすいデザイン構成とすること。

- (イ) トップページには、湯けむりフォーラムのコンセプトを視認性の高い形で配置し、訪問者に本サイトの趣旨・価値を直感的に伝えられるようにすること。
- (ウ) Web ページを通じて、利用者が必要としている情報に容易にたどり着ける、分かりやすい階層構造とすること。
- (エ) 利用者が安心して閲覧・利用できるよう、個人情報の取り扱いおよびセキュリティ面への配慮を前提とした設計とすること。
- (オ) ウェブアクセシビリティを考慮したサイトづくりを目指し、次の事項に配慮すること。
 - i. W3C の規定する Web Content Accessibility Guidelines(WCAG)
 - ii. JIS X8341-3:『高齢者・障害者等配慮設計指針・情報通信における機器、ソフトウェア及びサービス・第 3 部:ウェブコンテンツ』
 - iii. 群馬県ウェブアクセシビリティガイドライン
- (カ) 視覚障害者による利用を想定し、以下の実装に対応すること。
 - i. 画像には適切な代替テキスト (alt 属性) を設定すること。
 - ii. すべての機能をキーボード操作で利用できるようにすること。
 - iii. 音声読み上げを考慮し、論理的な読み上げ順序・構造を保つこと。
 - iv. 必要に応じて ARIA 属性を付与すること。
- (キ) Web ページ更新作業の負担を軽減するため、CMS 機能に配慮したものとする。特別な知識がなくとも更新作業ができるよう配慮したものとする。あわせて、以下の要素については県側で簡易に変更・調整できるようにすること。
 - i. トップページや各下層ページのテキスト文言
 - ii. バナー画像やページ内画像の差し替え
 - iii. 特定パーツの表示／非表示やデザイン要素（例：画像の角丸処理）の切り替え
 - iv. OGP・SEO タグなどの基本的なメタ情報
- (ク) リアルカンファレンスの招待状発送時期（令和 7 年 9 月末頃）にあわせて、改修後の湯けむり HP の運用を開始できるよう、スケジュールを調整すること。なお、やむを得ない事情により対応が困難な場合は、事前に群馬県と協議のうえ、代替案を検討すること。
- (ケ) 湯けむり HP におけるコンテンツは、以下の 2 つのカテゴリに明確に分類・整理するものとする。
 - i. リアルカンファレンス：毎年 1 2 月に実施されるイベントの集客用コンテンツ（告知、登壇者情報）およびアーカイブ動画を含む。
 - ii. 通年コンテンツ：過去にオンラインで開催されたイベントに基づくテキストレポート、アーカイブ動画等を含む。
- (コ) 各カテゴリの表示要件は以下の通りとすること。

i. リアルカンファレンスの表示要件

- ① 令和4年度以降の各年のリアルイベントについて、年度別に整理し、横並びのインターフェースで一覧表示すること。
- ② 各年度のカンファレンス内容（概要、プログラム、登壇者、アーカイブ動画等）は、年度ごとの専用ページ（もしくはタブ切替などのUI）で切り替え表示できる設計とすること。
- ③ 初期表示は最新年度（令和6年度）とし、ユーザーが他年度へ遷移できるようにすること。
- ④ イベント概要の他、動画アーカイブ等も整理し、年度単位での完結性をもたせること。

ii. 通年コンテンツの表示要件

- ① 企画単位でまとめたページ構成とし、企画ごとに以下の要素を含むこと。
 1. 企画紹介（例：熱源な人、全国群馬県人図鑑など）。
 2. 企画内コンテンツの一覧（テキストレポート、動画など）。
- ② 関連タグやカテゴリによる横断的なナビゲーション導線を実装し、テーマ横断的に閲覧しやすい構成とすること。

（サ）トップページまたはカテゴリ導入ページにて、「リアルカンファレンス」「通年コンテンツ」それぞれへの導線を視覚的・構造的に区分けすること。

（シ）ユーザーがどちらのカテゴリにいるかを常時認識できるナビゲーションデザインを実装すること。

（ス）湯けむり HP については、データ数の増加を考慮し、拡張性の高いものにする。

（セ）多様な利用者に配慮し、必要に応じて外国語対応を視野に入れた設計・構成とすること。特に英語対応については、将来的な拡張が可能な構成とすること。

（ソ）湯けむり HP 上の各コンテンツについては、SNS による発信・共有が促進されるよう配慮すること。主要 SNS（X、Instagram、Facebook 等）との連携を考慮し、シェアボタンの設置や OGP 設定等、拡散性の高い設計とすること。

② 技術要件

（ア）サーバは、群馬県が管理するホームページ統合基盤サーバを利用することとする。
なお、当該サーバの仕様は別紙「ホームページ統合基盤サーバ機能及び仕様一覧」のとおり。

（イ）湯けむり HP は、現行ドメインから群馬県が発行するサブドメインへ移行する予定である。サブドメインの指定および取得手続きは群馬県が行うが、ドメイン変更に伴う URL 設計・リダイレクト等については受託者が適切に対応すること。

（ウ）クライアントの OS およびブラウザは以下の製品で表示できること。

[OS]

Microsoft Windows10 以降

MacOS 14 (Sonoma) 以降

[ブラウザ]

Microsoft Edge バージョン 1 つ前まで

Safari バージョン 1 つ前まで

Google Chrome バージョン 1 つ前まで

Fire Fox バージョン 1 つ前まで

- (エ) Google アナリティクス 4 (GA4) を各ページに設置すること。
- (オ) 検索エンジン Google 及び Yahoo Japan 等において検索されやすい仕組みを考慮すること。検索キーワードの選定は、協議すること。群馬県と受託者の協議により、ターゲット層や検索意図に応じた設定を行うこと。
- (カ) 自発的検索によるサイト流入増加を図るための SEO 対策を考慮すること。またコンテンツ制作に際しても SEO に配慮したキーワードを設定すること。
- (キ) ウェブサイト内検索機能を有すること。
- (ク) アクセス数の集計が容易にできるよう設定すること。ユーザーインターフェースは GUI ベースのインターフェースとすること。
- (ケ) 群馬県がデジタルデータとして提供する各ページの文章及び画像等は Web サイト上に掲載するために必要なサイズ変更等の「最適化」について配慮すること。
- (コ) 湯けむり HP の運用・管理に必要な各種ドキュメント（設計書、構成図、マニュアル等）を整備し、電子データで納品すること。

③ セキュリティ要件

- (ア) 群馬県の統合基盤サーバを使用するものとし、SSL/TLS サーバ証明書（有償）を導入可能な構成とする。証明書の取得・設定作業の詳細については、サーバ運用業者との調整を行うこと。
- (イ) 個人情報ははじめとするセキュリティ対策について万全を期したものとすること。
- (ウ) 「群馬県情報セキュリティポリシー」を遵守し、成果品（Web サイト設計書、構成図、操作マニュアル等のドキュメント類を含む）に潜在的なセキュリティの脆弱性を生じることがないように、必要な対策を実施すること。
- (エ) セキュリティの詳細要件については、別紙「「湯けむりフォーラム」公式ホームページ改修業務に係る技術的セキュリティ要件」に基づくものとすること。

④ データ移行に関する要件

- (ア) 現行 HP に格納されている通年コンテンツの全データ（テキストレポート、動画等）を漏れなく新サイトに移行すること。

- (イ) 各企画単位で分類・整理された形で再配置を行い、新サイト上で適切なレイアウト・文脈で閲覧可能とすること。
- (ウ) 移行後のデータについては URL の変更や構成変更によるリンク切れが発生しないよう、必要に応じてリダイレクト処理を行うこと。
- (エ) 移行にあたって、現行 HP の保守管理者と適宜調整を行い、必要なデータ取得や CMS からのエクスポート作業等を円滑に実施すること。
- (オ) 現行サイトの稼働状況や更新予定に応じて、移行タイミングや作業手順を柔軟に調整できる体制を構築すること。

⑤ その他

- (ア) 湯けむり HP に係る Web サイトデザイン・レイアウト・構成の改修等の全ての過程において、密に群馬県との打合せ等を行うものとする。仕様書に記載のない事項及び内容の詳細については、群馬との協議により決定するものとする。
- (イ) 更新過程で発生した不測の事態や次の理由による軽微な変更等については、両者協議の上、随時行うものとする。
- (ウ) 業務に必要な費用の支払い業務について対応すること。
- (エ) 本事業に関わる責任者及び担当者については、本事業の趣旨・内容を十分に理解し、業務遂行に必要な知識、能力、経験を有する人材を配置すること。
- (オ) 原則、協力業者には県内事業者を活用すること。

⑥ 成果品の納入方法

(ア) 検収

成果物の納入をもって検収する。

(イ) 納入期限

納入期限については、群馬県と協議し、スケジュール等の調整をすること。

(ウ) 納入場所

群馬県知事戦略部戦略企画課未来創生室

(エ) 成果品

- i. 湯けむり HP 作成データ：電子媒体一式
- ii. Web サイト設計書、構成図、操作マニュアル等のドキュメント類：電子媒体一式

5. 委託業務内容の変更等

本仕様書に示す内容について、数量等が未確定な部分や詳細内容について、契約締結後に変更する場合がある。その場合は、県と協議の上で、内容や金額の変更等について決定すること。

6. 実績報告

事業終了後に、業務内容を報告書にまとめ、提出すること。

7. その他

① 守秘義務

個人情報、秘密と指定した事項および業務の履行に際し知り得た秘密（以下「秘密情報」という。）を第三者に漏らし、または不当な目的で利用してはならない。契約終了後も同様とする。

② 著作権

（ア）作成される成果物の著作権等の取り扱いは、次に定めるところによる。

（イ）本業務により作成された業務の成果物の所有権、著作権及びその他の権利は、受託者に帰属するものとする。ただし、群馬県はあらかじめ、受託者の許諾を得た場合には、業務の成果品等を元に翻案して、二次著作物を制作し、譲渡、貸与等を行うことができる。

（ウ）業務の成果品等に、受託業者が従前から補修する知的財産権（著作権、ノウハウ、アイデア、技術、情報を含む。）が含まれていた場合には、権利は受託者に留保されるが、群馬県は、本業務の成果品等を利用するために必要な範囲において、これを無償で利用できるものとする。

（エ）受託者は、群馬県に対し、著作権人格権を行使しないものとする。ただし、納入物について群馬県が承諾した場合に限り、制作実績の紹介として受託者のウェブサイト及び自社紹介資料等へ、群馬県の名称等を掲載することができるものとする。ただし、媒体種類および掲載内容等については群馬県が承諾した範囲に限るものとする。

ホームページ統合基盤サーバ機能及び仕様一覧(令和6年12月時点)

1 統合基盤サーバ機能及び仕様一覧

項目		内容	バージョン	詳細・備考
サーバー基本	サーバー容量	1TB(全体容量)		
	OS	Linux	-	ディストリビューション等は非公開
	ウェブサーバー	apache	2.4.x	SSL通信可、.htaccess利用可
	データ転送量	無制限		
	グローバルIPアドレス	1個		
	バックアップ	イメージバックアップ		
	FTPアカウント	1アカウント		複数アカウントの割り当ても可
	FTPS	利用可能		
	SSL証明書	Let's Encrypt、及び指定SSLのみ		基本はLet's Encrypt 有料のSSLを使用したい場合は別途ご相談ください
	WordPress	利用可能		インストール・設定は各自対応(移行ツールあり)
プログラム・DB	Perl	利用可能	5.16.x、5.26.x	
	PHP	利用可能	5.x、7.x、8.x	“pref.gunma.jp”サブドメインは7.4.x固定
	MySQL	利用可能	5.7.x	
	MariaDB	利用可能	10.5.x	
	httpd	apache	2.4.x	他にnginxも利用可能
	MTA	利用可能		詳細非公開
パス情報	Perl	/usr/bin/perl		
	ImageMagick	利用可能		詳細非公開
その他	DNS切り替え前のウェブページ確認方法	利用可能	-	グローバルIPアドレスで確認
	レンタルサーバ業者	Xserver		専用サーバーマネージド専用エントリー

※動作検証のための接続先及びFTPアカウント等は、別途お知らせします。

【注意事項】

・ホームページ統合基盤にコントロールパネルは設置されていないため、データベースアカウントの作成等、通常ホスティングサーバのコントロールパネルを介して行う作業については、ホームページ統合基盤運用業者に依頼すること。

【機器障害時の対応】

・機器障害により、ホームページを複製データから復元する必要がある場合は、ホームページ統合基盤において、前日の複製データから復元を行う。

【不正アクセス等への対応】

・ホームページ統合基盤で取得したアクセスログ等を提供する。
・アクセスログ等の解析により脆弱性が発見された場合、ホームページ統合基盤に起因する場合は、ホームページ統合基盤において対応を行う。

2 統合基盤の動作環境に関する問い合わせ先

担当部署	株式会社ナビアシスト サポートサービスセンター
電話	027-253-1544
メール	g-web@nav-assist.co.jp

別紙 「湯けむりフォーラム」 公式ホームページ改修業務に係る技術的セキュリティ要件

【OS コマンド・インジェクション対策】

- ・シェルを起動できる言語機能の利用を避けること。
- ・シェルを起動できる言語機能を利用する場合は、その引数を構成するすべての変数に対してチェックを行い、予め許可された処理のみが実行されるようにすること。

【セッション管理対策】

- ・セッション管理情報については、推測が困難なものにすること。
- ・HTTPS 通信で利用する Cookie には secure 属性を加えること。
- ・セッション管理情報を固定値にしないこと。
- ・セッション管理情報を Cookie にセットする場合、有効期限の設定に注意すること。

【パス名パラメータの未チェック対策】

- ・外部からのパラメータにウェブサーバ内のファイル名を直接指定できる実装を避けること。
- ・ファイルを開く際は、固定のディレクトリを指定し、かつファイル名にディレクトリ名が含まれないようにすること。
- ・ウェブサーバ内のファイルへのアクセス権限の設定を正しく管理すること。
- ・ファイル名のチェックを行うこと。

【メールの第三者中継対策】

- ・外部からのパラメータをメールヘッダの内容に指定しないこと。
- ・外部からのパラメータをメールヘッダに指定する場合は、危険な文字を排除すること。

【WEB サーバ構築にあたっての留意事項】

- ・OS やソフトウェアのぜい弱性情報を入手し、ぜい弱性への対処を行うこと。
- ・不要なサービスやアカウントを停止または削除すること。
- ・公開を想定していないファイルを、ウェブ公開用のディレクトリ下に置かないこと。

【DNS 情報の設定】

- ・ドメイン名およびその DNS サーバの登録状況を調査し、必要に応じて対処を行うこと。
- ※ 技術的なセキュリティ要件については、上記のほか IPA「安全なウェブサイトの作り方」を参照すること。